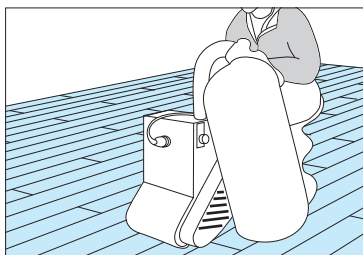


メンテナンス (サンディング・ウレタン塗装)

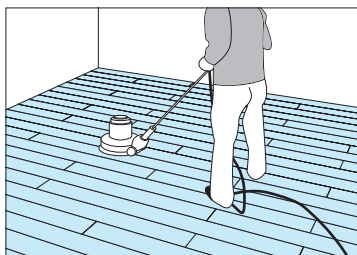
長期間の厳しい使用環境により、表面が傷んだフローリング(特にムク材)を再生させる方法として効果的です。表面サンディング後、ウレタン塗装をすることによりフローリングが生まれ変わります。

1 素地調整



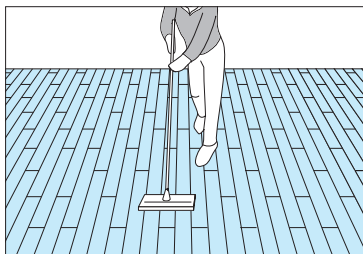
ドラムサンダーやディスクサンダーを使い表面を研磨し塵を除去します。
粗掛 #30~40ペーパー
中掛 #40~60ペーパー
仕上げ掛 #80~100ペーパー
その後、ポリッシャーにて研磨(③の工程)を行い、床面を平滑にします。

5 研磨・除塵



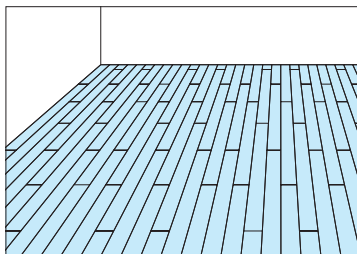
中塗りが完全に硬化後ポリッシャー(#100~120ペーパー)にて研磨します。

2 下塗り



羊毛モップにて塗装します。シンナーの希釈率や塗布量等は塗料取扱説明書に従ってください。

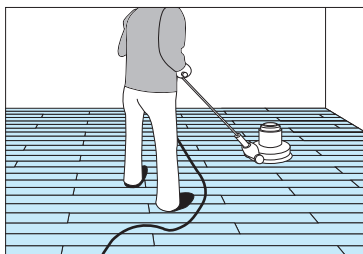
6 上塗り



下塗り、中塗り同様に羊毛モップにて塗装します。この際塗目が残らないように注意してください。

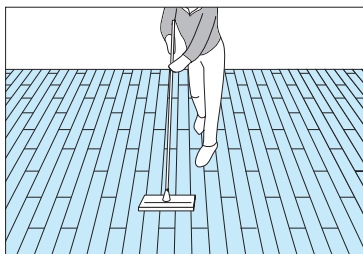
※体育館フロアのライン引きは⑤・⑥の工程の間に行いません。

3 研磨・除塵



下塗りが完全に硬化したらポリッシャー(#80~100ペーパー)にて研磨します。塗装面を平滑にすると同時に、塗装面に付着したゴミや気泡を取り除きます。

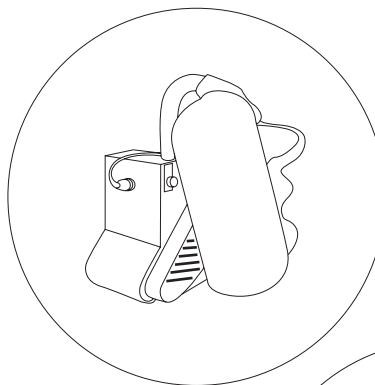
4 中塗り



下塗りと同様に羊毛モップ等で塗装してください。

7 養生

3日間、完全に塗料を乾燥させ、密着させます。

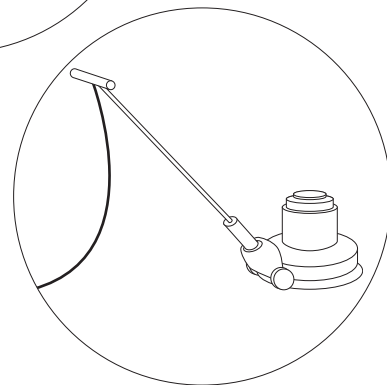


研磨工程用機械

- ドラムサンダー
- ディスクサンダー

塗床工程用機械

- ポリッシャー
- ポリウレタン塗料(仕上、仕様等は現場指示)
- 羊毛モップ



メンテナンス

木質系フローリングは天然素材を使用していますので、特に水分に敏感で吸収と放出を常に繰り返しています。天然木の特徴を理解した上で、メンテナンス剤についても使用方法を正しくご理解いただくことが大切です。ワックス、ウレタン、オイルフィニッシュ等の塗布作業によるフローリングの不具合については、当社は免責とさせていただきます。

■フローリングのご使用にあたって

紫外線対策

天然木は直射日光の紫外線や照明器具等により変色することがあります。太陽光の直射はカーテンやブラインド等で遮ってください。置敷きカーペット等によっても色違いが目立つようになる場合があります。

水濡対策

水に濡れたまま放置しないでください。シミや変色だけでなくカビの発生や天然木の膨張による膨れや反りの原因となります。水をこぼした場合は水濡れを発見した場合は速やかに拭き取ってください。キッチンや浴室前、洗面所、トイレ等の水や洗剤をこぼしやすい所にはキッチン(バス)マットを敷くことをおすすめします。この際、マットを濡らしたままにして長時間放置しないようにしてください。また、汚れ・砂・水分等を持ち込まないように、出入り口の汚れ防止としてフロアマット等を敷くと効果的です。ペットの排泄物をそのまま放置した場合、水をこぼした以上に美観など品質を損なうことがあります。直ちに固く絞った雑巾できれいに拭き取ってください。

什器や家具等の移動

什器等の重量物を移動・搬入する場合や、キャスター付きの台車等を移動する場合は、床を養生するなどして、へこみや傷つきに十分注意してください。椅子かテーブルの脚部には、市販のフェルト製クッション材を貼付けることでズヤやへこみ防止に役立ちます。

屋内専用の土足用無塗装ハードウッドフローリング(ジャラ・プライムフローリング、リベルタフローリング)は天然素材を使用しています。特に水分には敏感で吸収と放出を常に繰り返しています。無塗装のまま使用することも可能ですが、**汚れや染み等の防止には「オイルフィニッシュ」や「ウレタン塗装」で仕上げると効果があります。**天然木の特長を理解したうえで、仕上げ塗装剤についても使用方法を正しくご理解いただくことが大切です。

■業者様による機械洗浄およびワックスの剥離作業について

最近、木質系フローリングの美装作業をする際、下記のトラブル事例が発生し、お客様にご迷惑をおかけするケースが増えています。クレームやトラブルのない木質系フローリングの提供ができますよう、ご協力お願いいたします。

発生しているトラブル

- 大量の水の使用により、床材が反る、突き上げる、床鳴りが発生する。
- 洗剤(アルカリ性)の使用方法が適切でなく、床材が黒く変色する。
- 樹脂ワックスの塗布方法が適切でなく、床材が膨れる、変色する、床鳴りが発生する。
- 剥離剤を使用して、床材の塗膜が破壊する、床材が膨れる、変色する。

これらのトラブルが発生すると、対応として床材の張り替えなど大がかりな工事が必要となります。万が一剥離作業を行なう場合には、剥離剤メーカーや関係者と十分協議・下見・打ち合わせ等をし、了承の上作業を行なってください。

■日常のお手入れ方法

- 日常のお手入れはダスターまたはホウキ、掃除機等で床のほこりやごみを取り除くだけです。汚れのひどい場合は水溶性の洗剤をモップなどにスプレーし拭き取ってください。直接床に吹きかけることは避けてください。
- 水をこぼした時は、乾いた布などで速やかに拭き取ってください。水分の影響で膨れやそり等の不具合が生じ、歩行に支障を及ぼすことがあります。
- やむを得ず水拭きする場合は硬く絞った雑巾等で行なってください。



ワックスがかけられている場合には、上記溶剤でワックスが溶けることにより、白化や艶濁りなどの要因となりますので、ワックスメーカー推奨の洗剤または水溶性の洗剤希釈液を使用してください。

■土足用無塗装ハードウッドフローリングの現場塗装

土足用塗装ハードウッドフローリング(ジャラ・プライムフローリング、リベルタフローリング)の汚れ防止のためには「オイルフィニッシュ」や「ウレタン塗装」等の現場塗装が効果的です。詳しくは専門の業者様と打ち合わせしてから施工してください。

※水性ワックスや樹脂ワックスは、含まれる水分によって不具合が起こる場合がありますので、土足用無塗装ハードウッドフローリング(ジャラ・プライムフローリング、リベルタフローリング)には絶対に使用しないでください。

A:オイルフィニッシュで仕上げる場合(現場施工・別途費用)

オイルフィニッシュ(天然型浸透性塗料)で仕上げる場合には、オイル専門メーカーや施工業者様と十分な打合せを行なった後に塗布してください。

〈オイル塗装の推奨商品〉

メーカー名/連絡先	商品名称	備考
北三(株) TEL:0297-62-3482	ワトコリアレックス	天然型浸透性オイル (F☆☆☆☆)

※オイル塗装剤をご使用の際には、各メーカーの取り扱い説明書および注意書きを熟読のうえでご使用ください。

B:ウレタン塗装で仕上げる場合(現場施工・別途費用)

ウレタン塗装で仕上げる場合には、ウレタン専門メーカーや施工業者様と十分な打合せを行なった後に塗布してください。(P.170参照)

〈ウレタン塗装の推奨商品〉

メーカー名/連絡先	商品名称	備考
大東ペイント(株) TEL:046-245-1678	ウレタイト水性二液	無黄変水性ポリウレタン樹脂塗料 (F☆☆☆☆)

※ウレタン塗装をご使用の際には、各メーカーの取り扱い説明書および注意書きを熟読のうえでご使用ください。

塗装仕上げフローリングのワックス塗布(必要とされる場合)

塗装仕上げのフローリングについては、P.171の「日常のお手入れ方法」で十分です。建物の引渡し前にワックスを塗布する必要がある場合や定期的に塗布する必要がある場合には、下記要領で洗浄後ワックス塗布を行なってください。

〈洗剤・ワックスの推奨商品(塗装仕上げフローリングの場合)〉

洗剤・ワックス		取り扱いメーカー	
		(株)リンレイ TEL:03-3541-4851	シーバイエス(株) TEL:045-640-2280
家庭用	洗剤	オール床クリーナー 500ml	—
	ワックス	ハイテックフローリングコート 1ℓ	
店舗用	洗剤	オール床クリーナー 1ℓ	グリーンプラスフロアクリーナー 18ℓ
	ワックス	ハイテックフローリングコート 4ℓ	ジョンウッドフローリングワックス 18ℓ
業務用	洗剤	NEWプロインパクト中性	グリーンプラスフロアクリーナー 18ℓ
	ワックス	ハイテックフローリングコート 18ℓ	ジョンウッドフローリングワックス 18ℓ

※洗剤・ワックスをご使用の際には各メーカーの取り扱い説明書および注意書きを熟読の上で使用ください。

洗浄作業

- 床表面のほこり、ゴミ、砂等をきれいに除去します。
- 床用洗剤に指示されている倍率に従った洗剤希釈液を洗剤専用としたモップに含ませ、固めに絞った後に床表面の汚れを拭き取ります。
- 床面の洗剤が乾かないうちに、清水ですすぎ固く絞ったきれいなモップで(洗剤液を使用したモップは使用しない)洗剤分が残留しないようにしっかりと2回程度拭き上げます。
- 床面を十分に乾燥させます。

⚠ 水による洗浄は絶対行なわないでください。前述の通り、床の反り・伸びによる突き上げ等トラブルの原因となります。

ワックス塗布作業

⚠ 床面、室温、ワックスの液温が5℃以上であることを確認します。

初回作業

- ワックス専用としたモップに木質系フローリングに適したワックスを含ませ、やや絞りに加減に絞ります。
- ワックスを木目に沿って薄くムラなく、床材の目地に溜まらないように塗布します。目安は約10ml/m²です。(100ml/ℓ)
- 床面をしっかりと乾燥させ、2層目を同じように塗布します。

⚠ ※床面に直接ワックスを撒かないでください。
 ※雨天時など湿度が高い時や冬場など気温の低い時には、ワックスの塗り重ね間隔を長めにとり、十分に乾燥させてください。
 ※乾燥に送風機を使用する場合は、表面が乾燥してから使用してください。
 ※直射日光が当たるときは、遮光してください。

定期管理1(狭い床面積でワックス再塗布をする場合)

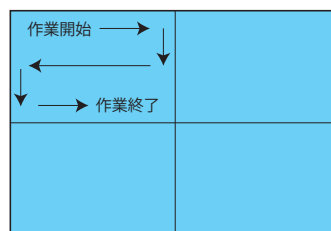
- 前述の洗浄作業・ワックス塗布作業(但し1層塗布)と同様に行ないます。

⚠ ※汚れが落ちにくい場合は、スポンジタワシ等を使って除去します。
 ※必要以上に塗り重ねることは避けてください。

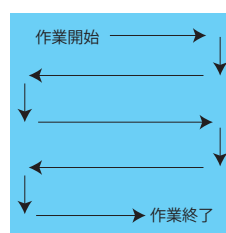
定期管理2(広い床面積でワックス再塗布をする場合)

- 床表面のほこり、ゴミ、砂等をダスターまたは掃除機によりきれいに除去します。
- 床用洗剤に指示されている倍率に従った洗剤希釈液を洗剤専用としたモップに含ませ、固めに絞って床面に塗布します。塗布量の目安は希釈液で10ml/m²以下です。
- 赤パッドを装着したポリッシャーにて洗浄します。
- 直ちに吸水バキュームを使用して汚水を回収します。
- 床面が乾かない内に、清水ですすぎ固く絞ったきれいなモップで(洗剤液を使用したモップは使用しない)、洗剤分が残留しないようにしっかりと2回程度拭き上げます。
- 床面を十分に乾燥させます。
- 前述のワックスがけ作業と同様にワックスを塗布(但し1層塗布)します。

⚠ ※必要以上に塗り重ねることは避けてください。
 ※作業面積を小さく区切って(分割作業)作業を行なってください。



分割(広い面積)の作業
 作業場所を区切って一連の作業を行なう場合



通常(狭い面積)の作業
 作業場所を区切らないで一連の作業を行なう場合